

テーマ：「三重県アトラス」から 人口減少対策を考える

<開催のねらい>

「三重県アトラス」は、東京大学と三重県との連携協定締結を記念して令和3年3月に刊行されました。一つの県を対象地域にしたアトラスは他になく、これを見るだけで三重県にまつわる多岐にわたる事象を把握できる貴重な資料となっています。

本ワークショップは、「三重県アトラス」に掲載された情報を活用し、地域の特徴を読み解き、様々な情報を結びつけることで、三重県の各地域で重要課題となっている人口減少について、解決に向けた今後の政策を考えます。

<こんな方におすすめ>

○データを活用して政策立案につなげたい。

○他自治体の職員と意見交換することで、新たな視点で地域の人口減少について検討したい。

■日時： 令和3年 11月 18日(木)13:00-14:40 (12:30受付開始)

■会場： 東京大学地域未来社会連携研究機構三重サテライト

(三重県四日市市鶉の森1丁目4-28 ユマニテクプラザ1階)

■プログラム:

13:00-13:30 開会挨拶・講演 松原 宏(東京大学大学院総合文化研究科教授
地域未来社会連携研究機構長)

13:30-14:00 グループワーク

○「三重県アトラス」の関連ページの読み取りと政策課題の抽出

○既存の政策と今後の政策案の検討

14:00-14:10 休憩

14:10-14:40 発表・講評

■対象：県内自治体職員

■参加費：無料

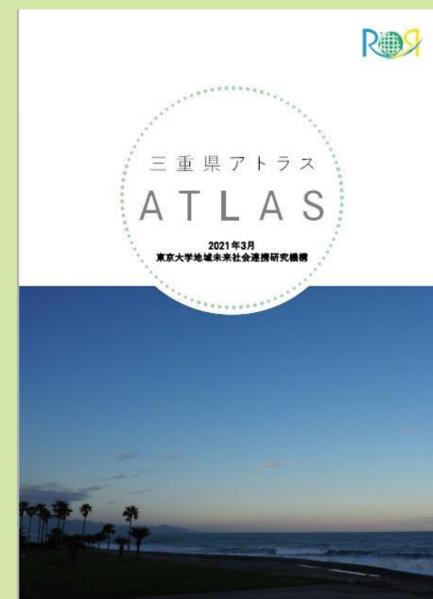
■定員：30名(会場10名・オンライン20名)

※申し込み多数の場合は先着順とします。

※オンライン参加の方には、後日ミーティングID等をご連絡します。

■問い合わせ先：東京大学地域未来社会連携研究機構事務局

E-mail. office@frs.c.u-tokyo.ac.jp



※「三重県アトラス」は次のリンク先からご覧いただけます。当日会場参加の方には冊子をお配りします。(東京大学地域未来社会連携研究機構HP)

https://frs.c.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/2021/06/Miepref_2021.pdf

■講演者 プロフィール:

松原 宏(まつばら ひろし)

東京大学 地域未来社会連携研究機構長

大学院総合文化研究科 教養学部・人文地理学教室 教授

理学博士。神奈川県生まれ。

1985年、東京大学大学院理学系研究科博士課程修了後、1997年まで西南学院大学経済学部勤務。

1997年より東京大学大学院総合文化研究科助教授、2007年より現職。

専門は経済地理学。

経済産業省産業構造審議会委員、同地域経済産業分科会会長。

<主な著書>「産業集積地域の構造変化と立地政策」(編著、東京大学出版会、2018年)

「日本のクラスター政策と地域イノベーション」(編著、東京大学出版会、2013年)

「経済地理学—立地・地域・都市の理論」(単著、東京大学出版会、2006年)ほか。

会場アクセス

【会場】 東京大学地域未来社会連携研究機構

三重サテライト (ユマニテクプラザ1階)

【住所】 三重県四日市市鶉の森1丁目4-28

【交通】 近鉄四日市駅(南改札西口)から徒歩5分
(専用駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。)

●当日の会場でのマスクの着用、消毒等へのご協力をお願いします。

●新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等により、内容を一部変更もしくは開催中止とする場合がございます。ご了承ください。



参加申し込み

参加をご希望の方は、下記の必要事項をメールにて送付してください。

■申し込み先：東京大学地域未来社会連携研究機構事務局

E-mail: office@frs.c.u-tokyo.ac.jp

組織名						
住所	〒 -					
参加者1	所属・役職		E-mail		参加方法 (いずれかをご選択ください)	現地・オンライン
	氏名		TEL			
参加者2	所属・役職		E-mail		参加方法 (いずれかをご選択ください)	現地・オンライン
	氏名		TEL			

※提出いただいた個人情報は、本ワークショップについての連絡のみに使用し、一定期間終了後破棄します。

主催：東京大学地域未来社会連携研究機構